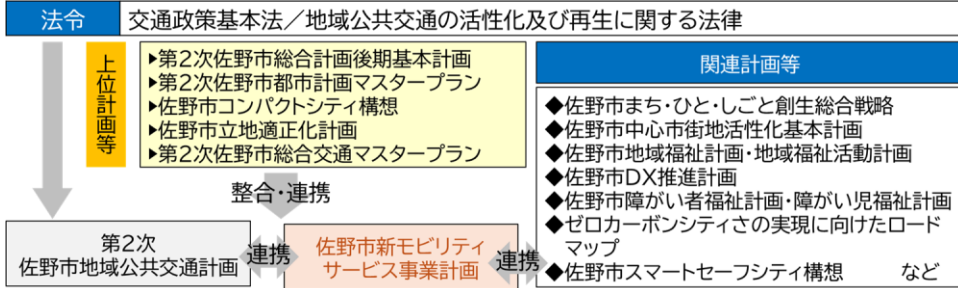


# 佐野市新モビリティサービス事業計画【概要版】

## 1. 計画の概要（本編 P.1～5）

- 本計画では、本市の上位・関連計画と整合・連携し、持続可能な交通体系の確立とコンパクト・プラス・ネットワークの推進につながる新モビリティサービスの導入を進めます。関連計画の中で、「第2次佐野市地域公共交通計画」は、地域全体の公共交通に関する方針・目標・事業を取りまとめたものであり、両計画が連携していくことが求められます。

### 計画の位置付け



### 計画区域

佐野市全域

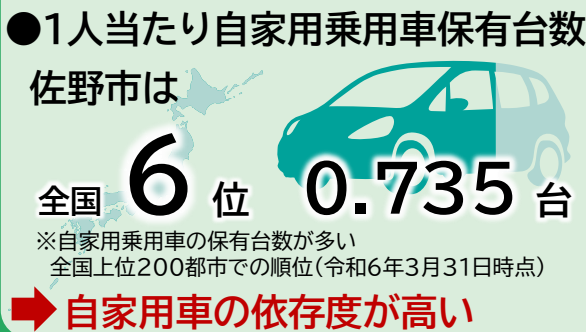
### 計画期間

令和8（2026）年度から  
令和12（2030）年度の5年間

## 2. 地域特性と移動実態（本編 P.6～19）

- 本市の移動に関する課題を把握するため、統計情報や調査結果等から整理した地域特性と移動実態は以下のとおりです。

### 移動手段の現状



### 助成制度 公共交通に関する

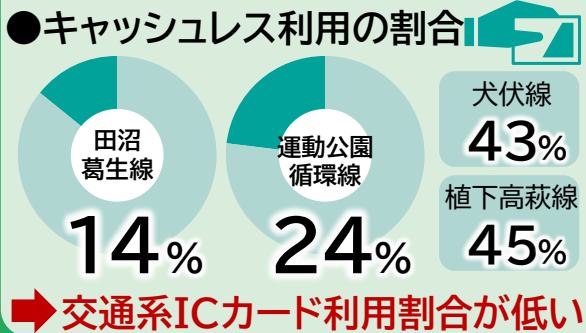
### ●助成制度の利用者数等の記録



助成制度の利用者数等を運転手が記録し、運行終了後に事務員が集計

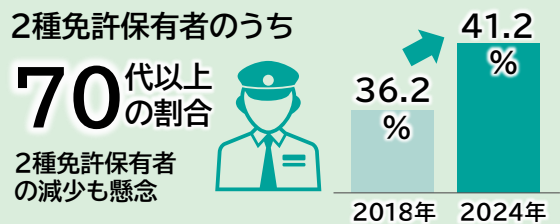
➡ 運行事業者の事務負担が大きい

### 公共交通の利用環境



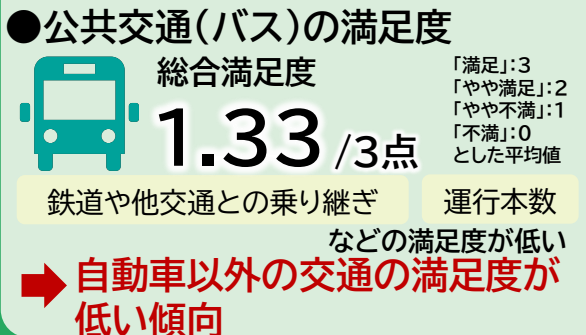
### 公共交通の運行体制

### ●公共交通ドライバーの将来



➡ ドライバー不足の深刻化

### 市民の満足度・ニーズ



### 観光移動

### ●観光移動で求められること



鉄道・バスでの行き方に関する情報がわかりやすく入手できる **47.6%**

鉄道・バスの乗り継ぎを便利にする **37.9%**



➡ 情報提供の充実や利便性向上

### 3. 移動に関する課題と本計画にて取り組む事業（本編 P.20～22）

- 地域特性と移動実態より、公共交通・移動シーン・施策の観点から本計画で取り組む本市の移動に関する課題・改善の方向性について整理するとともに、取組方針に基づき、選定の視点に合致する新モビリティサービス事業を3つ選定しました。

#### 移動に関する課題・改善の方向性

取組方針	方針1	市内の公共交通の移動に係る課題の改善により、公共交通の利便性向上による利用促進および新たな利用者の拡大を図ります
	方針2	既存の公共交通だけでなく、他分野との連携も含め、本市の課題改善の方向性を実現する個々の新モビリティサービスを検討するとともに、それらの組合せについて検討します
	方針3	将来的なモビリティサービスの高度化(MaaSや自動運転等)は、本市単独で解決できるものではなく、社会課題や国の動向等を考慮しながら、将来的な導入スキーム等を段階的に検討していきます
選定の視点	視点1	事業費(導入経費及び維持経費)と期待される効果を検証し、効率的な整備により最大限の効果が発揮できるもの
	視点2	本市の移動実態に応じて事業計画中に実装が想定されるもの

#### 3つの事業を選定

### 4. 各事業の概要（本編 P.23～26）

#### 事業 1 最新のデマンド交通システムへの入れ替え

##### 背景・課題

- デマンド交通の利用者が少なく、乗合率が低い状況です。
- デマンド交通を利用しない理由として、利便性が低いこと、認知度が低いこと等がアンケート結果で明らかとなっています。
- 配車計画の立案は、オペレーターのノウハウに依存しています。

##### 事業の内容

- 既存システムのアップデートにより利用者の利便性向上を図るため、最新のデマンド交通システムへの入れ替えを実施します。これにより、デマンド交通利用者数を増加させるとともに、オペレーター業務の効率化を図ります。

##### 期待される効果

- システムの予約・案内サービス等のアップデートにより利便性が向上されます。
- 配車業務をシステム化することによるオペレーターの負担が軽減されます。またオペレーターのノウハウに依存しない対応が可能となります。

##### 利用者の利便性向上

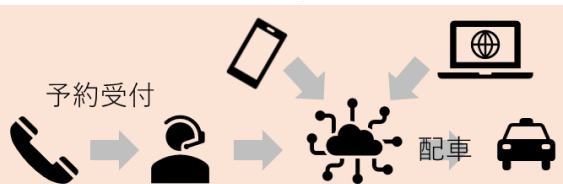


WEB予約にて自宅を乗降場所に設定可

車両の到着をお知らせ

車両位置を確認可能

##### オペレーター業務の効率化

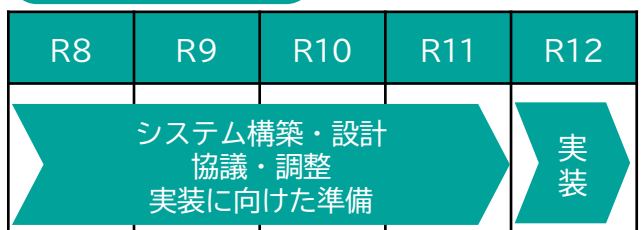


オペレーターは電話予約の受付のみ  
配車はシステムで実施

##### 事業の目標

評価指標	現況 (R6)	目標値 (R12)
WEBでの予約割合	7%	27%
オペレーターの負担軽減 (アンケートの回答割合)	-	75%

##### 予定スケジュール



## 事業 2 デジタル技術によるOD情報の取得

※OD情報とは、人の移動における出発地と目的地を示す情報。

### 背景・課題

- 公共交通の運行内容の見直し等に活用する利用者データの取得が必要です。
- データ取得に関する事業者負担が大きいです。

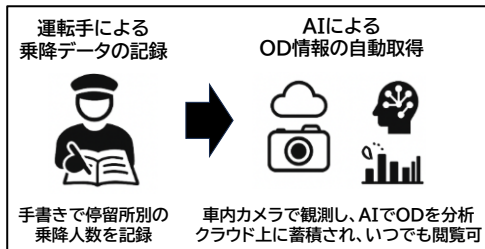
### 事業の内容

- 車内にカメラを設置し、撮影した映像データをAIで解析することにより、利用者別のODデータを取得。取得データは自動的にサーバーに蓄積し、運行事業者や行政がリアルタイムで閲覧できます。

### 期待される効果

- OD情報の取得により、詳細な利用状況の把握・分析が可能となります。
- 利用者データ取得における運転手の負担が軽減されます。

バス車内にカメラを設置しODを取得

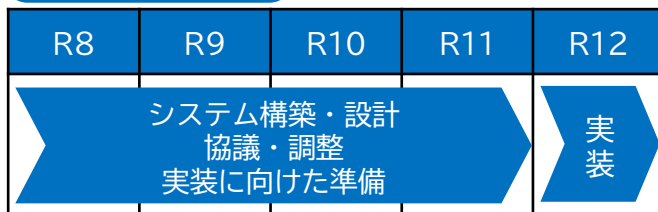


出典：NAGOYA EVOLVES HP

### 事業の目標

評価指標	現況 (R6)	目標値 (R12)
運転手および事務員の負担軽減(アンケートの回答割合)	-	90%

### 予定スケジュール



## 事業 3 マイナンバーカードを活用した助成制度のデジタル化・高度化

### 背景・課題

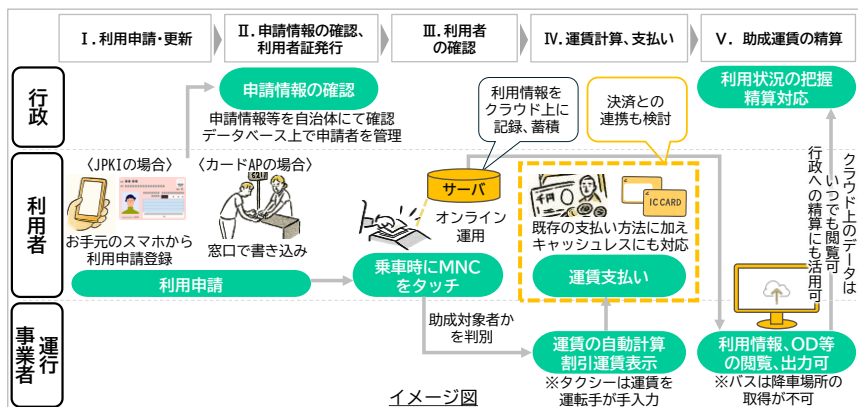
- 本市の公共交通に関する助成制度では、「利用者」、「行政」、「運行事業者」のそれぞれにおいて、利用申請や資格確認、制度運用等に様々な課題があり、負担軽減が求められています。

### 事業の内容

- マイナンバーカードによる認証技術を活用し、助成制度対象者（高齢者、障がい者）の判断と助成区分に応じた運賃計算をデジタル化します。
- 決済連携に向けた検討を進めます。

### 期待される効果

- 利用者証の申請や更新にかかる利用者と行政の負担が軽減されます。
- 運行事業者の資格確認作業や助成金額精算の負担が軽減されます。



### 事業の目標

評価指標	現況(R6)	目標値(R12)
助成制度の利用回数の増加	66,851回/年	69,800回/年
システム登録者数の増加	-	4,200人
行政や運行事業者の負担軽減(負担軽減が図られたと回答した行政、事業者の割合)	-	90%

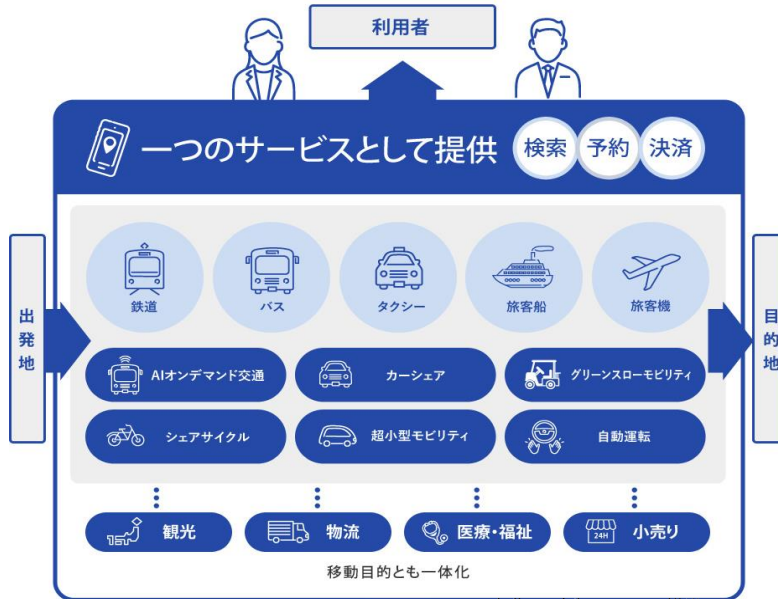
### 予定スケジュール



## 5. 将来目指すべき新モビリティサービス（本編 P.29～33）

- 「新モビリティサービス事業計画」で取組む新モビリティサービス事業、その他の公共交通施策等の連携を進めるとともに、全国的な導入事例等を参考にしながらMaaSの実現に向けた検討を進めていきます。
- 社会的動向や技術の進展、栃木県内の先行事例等を踏まえながら、MaaSをはじめとする自動運転・ライドシェア等のモビリティサービスの高度化に関する検討を進めていきます。

MaaS(マース)



出典：日本版MaaSの推進 HP

### 全国のMaaS導入事例

本計画で取り組む事業との連携や導入事例等を参考にしながら実装を検討

スマホひとつで目的地までらくらくご案内

バス フリーバス シェアサイクル 利用・決済

タクシー デマンド交通 予約・乗車・決済

乗車・決済 スマホフリーパス ローカルフリーパス

マイナンバーカード 交通系ICカードと連携

出典：群馬県 GunMaaS HP

お持ちの乗車券は→こちらから表示できます

デジタルモビリティ

出典：愛媛県南予地域 観光型MaaS HP

### 佐野市新モビリティサービス事業計画

事業 1

最新のデマンド交通システムへの入れ替え

事業 2

デジタル技術によるOD情報の取得

事業 3

マイナンバーカードを活用した助成制度のデジタル化・高度化

### その他事業

本市にて取り組む公共交通に関する事業

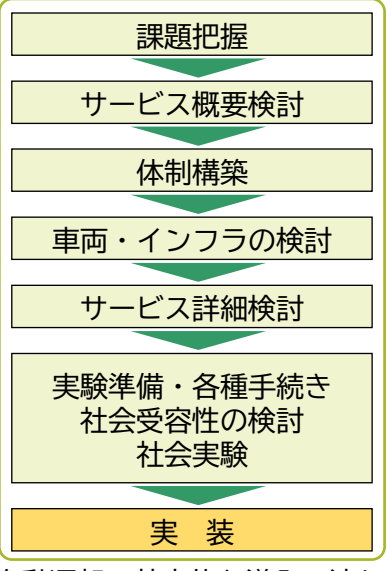
- 自動運転の導入に向けた課題整理等を目的とする「栃木県ABCプロジェクト」では、これまで9地域での実証実験を実施しています。
- 自動運転に関して、既存の交通関連法規との整合性が十分に整備されていないため、導入に当たっては運用ルールの策定や関係機関との調整が必要となります。

NO.	自治体名	最高速度	乗客定員
1	茂木町	40km/h	9人
2	小山市	40km/h	11人
3	壬生町	18km/h	5人
4	那須塩原市	19km/h	9人
5	那須町	18km/h	9人
6	宇都宮市	40km/h	19人
7	足利市	18km/h	7人
8	日光市	35km/h	15人
9	下野市	35km/h	55人



出典：RoAD to the L4 HP

※自動運転レベル2での実施 出典：栃木県無人自動運転移動サービス推進協議会資料を基に作成



自動運転の基本的な導入の流れ

## 6. 事業の進捗管理（本編 P.34）

- 事業の進捗については、第2次地域公共交通計画と連携を図りながら、PDCAサイクルに基づき、設定した指標や事業の進捗状況を定期的に評価・検証します。また、地域の実情や社会情勢の変化に応じて、必要に応じて計画の見直しを行うこととします。



発行 栃木県佐野市 編集 佐野市 都市建設部 交通政策課

〒327-8501 栃木県佐野市高砂町1番地

E-mail koutu@city.sano.lg.jp

TEL 0283-85-7303 FAX 0283-20-3035

URL https://www.city.sano.lg.jp/



▲本編はこちら